

# 測定資機材

- ▶ モニタリングステーション（島根県10局、鳥取県2局）及びモニタリングポスト（島根県151局、鳥取県10局）で、発電所周辺地域の放射線量、放射性物質濃度を測定
- ▶ 電源等の喪失が発生しても測定や伝送が中断しないよう、非常用電源や通信回線の強化を実施
- ▶ 万一、モニタリングステーション等が使えなくなった場合に備え、可搬型モニタリングポスト（島根県7台、鳥取県12台）を配備
- ▶ 放射線量、放射性物質濃度を測定する測定装置や機材を搭載したモニタリングカー等を配備

## 【島根県】



モニタリングステーション・モニタリングポスト  
(非常用発電機装備)



可搬型モニタリングポスト  
(常設、蓄電池装備)



簡易型モニタリングポスト  
(常設、太陽光パネル装備)



モニタリングカー

## 【鳥取県】



モニタリングステーション  
(非常用発電機装備)



可搬型モニタリングポスト  
(常設、蓄電池装備)



可搬型モニタリングポスト  
(常設、蓄電池装備)



モニタリングカー

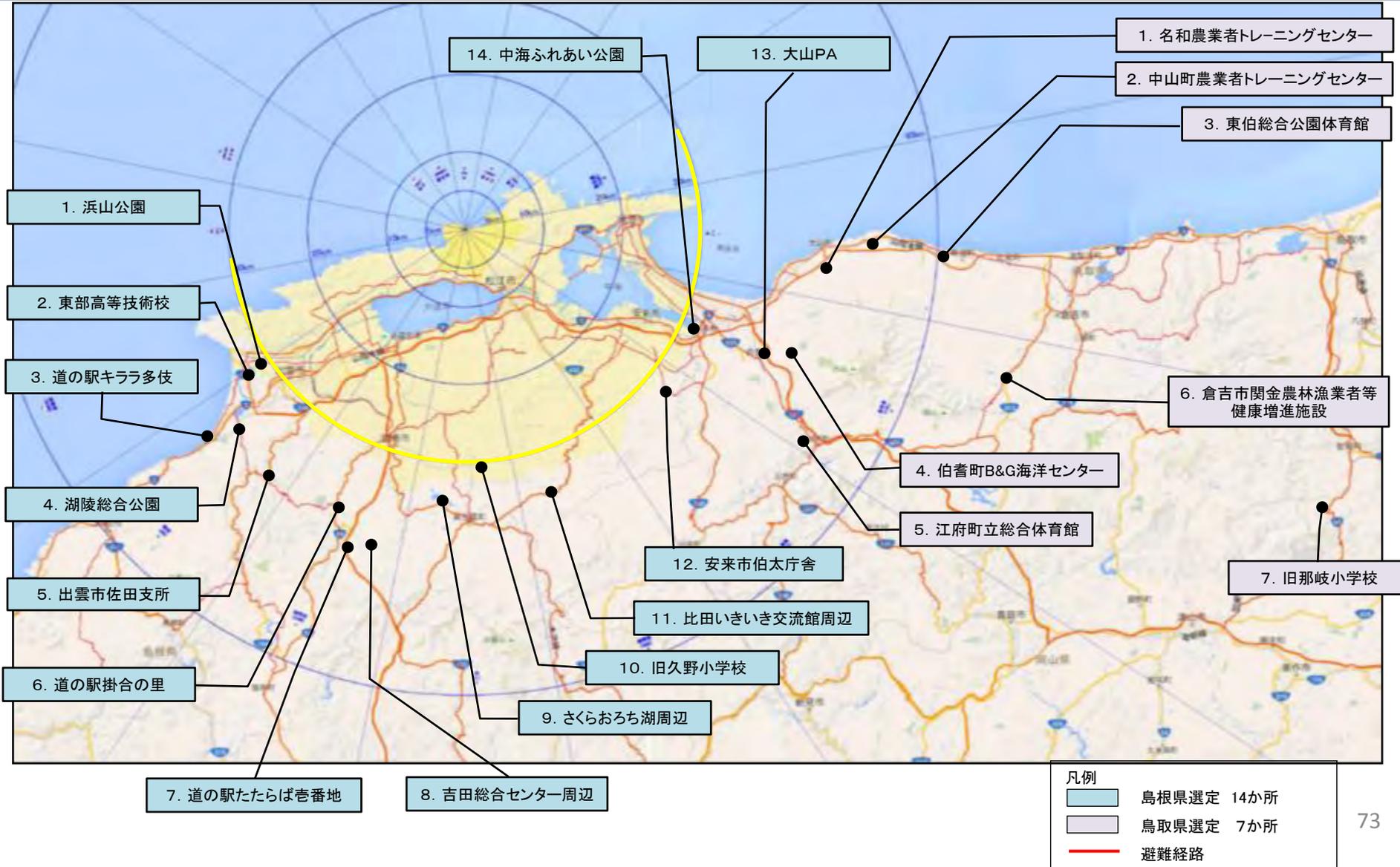
## 10. 避難退域時検査及び簡易除染

### <対応のポイント>

避難退域時検査は、国がO I Lに基づく防護措置の指示とともに地方公共団体に実施を指示し、これを受けた地方公共団体があらかじめ定めた実施計画に基づき実施することとなっている。

# 検査候補地

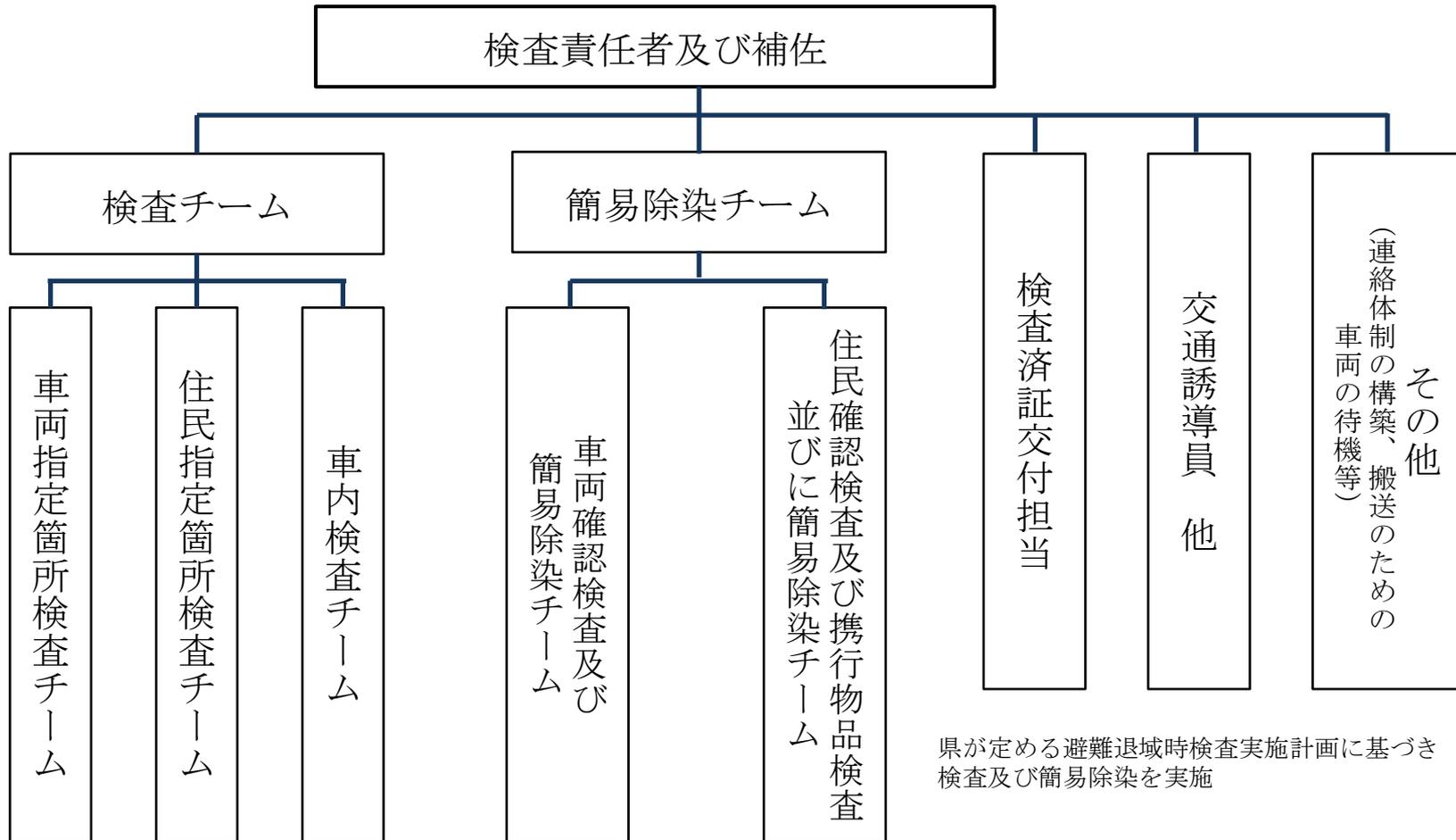
➤ 国の「原子力災害時における避難退域時検査及び簡易除染マニュアル」を踏まえ、避難経路に面する場所又はその周辺に候補地を選定



# 検査体制、資機材

- 避難退域時検査は、島根県、鳥取県が中国電力(株)と連携し、国、関係自治体、関係機関の協力のもと運営
- 中国電力(株)は、備蓄資機材を活用し、\_\_\_\_\_人程度の要員を避難退域時検査場所へ動員
- 指定公共機関（放射線医学総合研究所・日本原子力研究開発機構）は、国及び関係自治体からの要請に基づき、要員及び資機材による支援を実施

避難退域時検査及び簡易除染の体制（例）



県が定める避難退域時検査実施計画に基づき検査及び簡易除染を実施